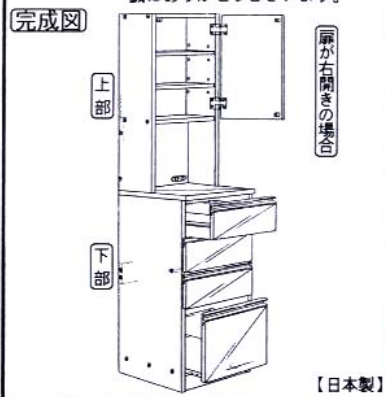


水がハネても大丈夫 扉棚付チェスト W45 組立説明書(型番)F-731

この度は本品をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。



たんす類の品質表示

寸法
 外形 (上部) 約 幅 445mm × 奥行 235mm × 高さ 850mm
 (下部) 約 幅 445mm × 奥行 445mm × 高さ 920mm
 引出しの奥行き 350mm

表面材 扉・下部天板・引出前板 鏡面ポリエステル化粧合板
 その他 プリント化粧合板

表面加工

取り扱い上の注意

- イ. 据え付けの際には、湿気の多いところを避け、家具を水平に保つために必要な措置を講じてください。
- ロ. 直射日光または、ストーブの熱を避けてください。

耐荷重量についての表示 天板約10kg、可動棚・固定棚約10kgを超えない範囲でご使用下さい。

△組み立て前に必ずお読み下さい!

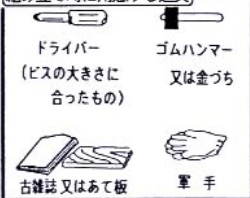
- 塗料・接着剤等の臭いがかもっている場合があります。梱包を開けて作業する場合は通気性を良くして行ってください。
 - 組み立ては十分に広い場所で行い、まわりの家具や床等に傷つかないように注意してください。
 - 組み立ての際は指を挟んだり、足にものを落とさないように充分注意してください。
 - 組み立てる前に必ず部材・部品を確認してください。
- 万一、傷・不足があればご面倒ですが下記のお問い合わせ窓口までご一報ください。
- ボンドをつける前に仮組み(確認)をすると、間違いが防げます。
 - 部材をボンドで接着した後は外す事ができませんのでご注意ください。
 - ビスのプラス穴に合ったドライバーを使用し、最初は仮締め程度にして組み上がってから締めてください。
 - ビスを必要以上に締め過ぎると、空回りして効かない場合があります。電動ドライバーをご使用の場合はご注意ください。
 - ボンドが完全に乾いてから(12時間程度が目安です)ご使用ください。尚、はみ出たボンドは拭き取ってください。

(注意)※商品を保護するために薄い板が2枚入っていますが、組み立てに必要な部材ではありません。

※表面の取扱説明書も必ずお読み下さい。また、この説明書はいつでも見られるように大切に保管して下さい。

上記の注意事項に充分注意して、正しく組み立てて下さいますようお願い致します。

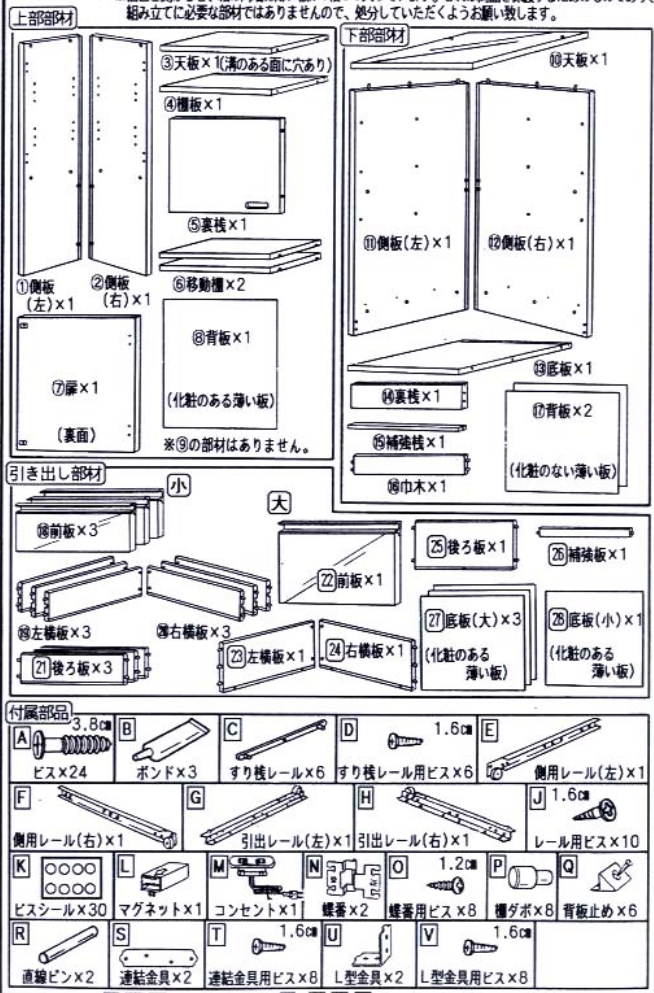
組み立て時に用意する道具



部材・部品明細

(部品明細) ※下図に描かれた部材・部品が揃っているか、確認して下さい。

※梱包を開けると、箱の両端に薄い板が1枚づつ入っています。これは商品を保護するためのものであり、組み立てに必要な部材ではありませんので、処分していただくようお願い致します。



組み立ての手順

F-731

番号の順番に従って、組み立てて下さい。

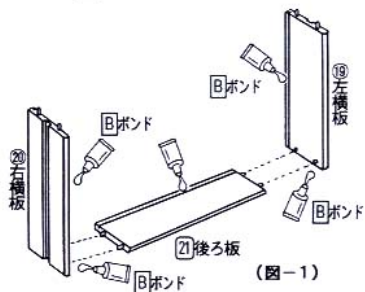
※ハンマーで叩く場合は、あて板・古雑誌(厚みが2cm以上あるもの)等をあて下さい。

1 引き出しを組み立てる。

●引き出し(小)の組み立て

※同じ要領で引き出し(小)を3個組み立てて下さい。

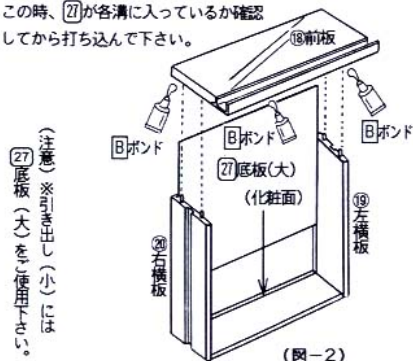
- (1)左右横板⑲・⑳の穴2個づつにBボンドを入れて
㉑後ろ板を取り付け、⑲・⑳・㉑の各溝(各2カ所程度)にBボンドを入れておきます。(図-1参照)



(図-1)

- (2)⑲と⑳の溝に沿って㉒底板(大)を差し込み、㉓前板の穴4個と溝にBボンドを入れ、⑲と⑳の突起した部分に穴を合わせて、上から傷のつかないようにあて物をあてて打ち込みます。(図-2参照)

この時、㉑が各溝に入っているか確認してから打ち込んで下さい。

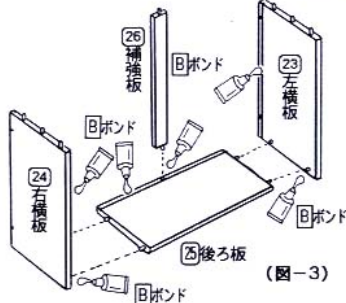


(図-2)

●引き出し(大)の組み立て

※引き出し(大)を1個組み立てて下さい。

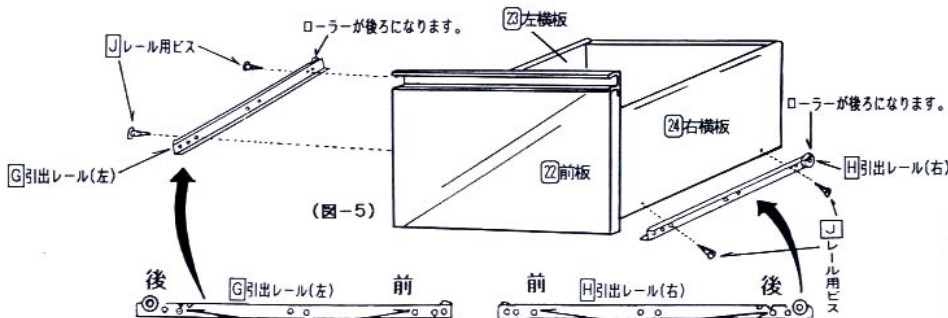
- (1)左右横板㉔・㉕の穴2個づつにBボンドを入れて
㉖後ろ板を取り付け、㉖の穴1個にBボンドを入れて㉗補強板を差し込みます。㉔・㉕・㉖の各溝(各2カ所程度)にもBボンドを入れておきます。(図-3参照)



(図-3)

- (3)㉔左横板にG引出レール(左)を、㉕右横板にH引出レール(右)をそれぞれ左右に注意して、Jレール用ビスで取り付けます。(図-5参照)

(注意)※引出レール(左・右)の取り付け位置は、下図を参考にして下さい。



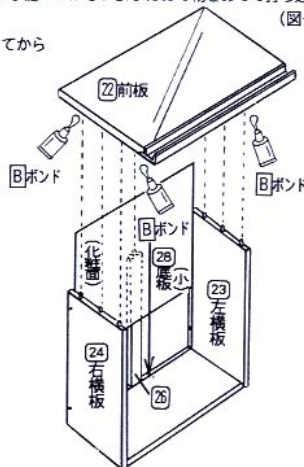
(図-5)

※この穴と印しを合わせて、Jレール用ビスで取り付けして下さい。 ※この穴と印しを合わせて、Jレール用ビスで取り付けして下さい。

- (2)㉔と㉕の溝に沿って㉘底板(小)を差し込み、㉙前板の穴7個と溝にBボンドを入れ、㉚・㉛・㉜の突起した部分に穴を合わせて、上から傷のつかないようにあて物をあてて打ち込みます。(図-4参照)

この時、㉜が各溝に入っているか確認してから打ち込んで下さい。

(注意)※引き出し(大)には
㉘底板(小)も使用下さい。



(図-4)

▼組み立ての手順が裏面に続きます。

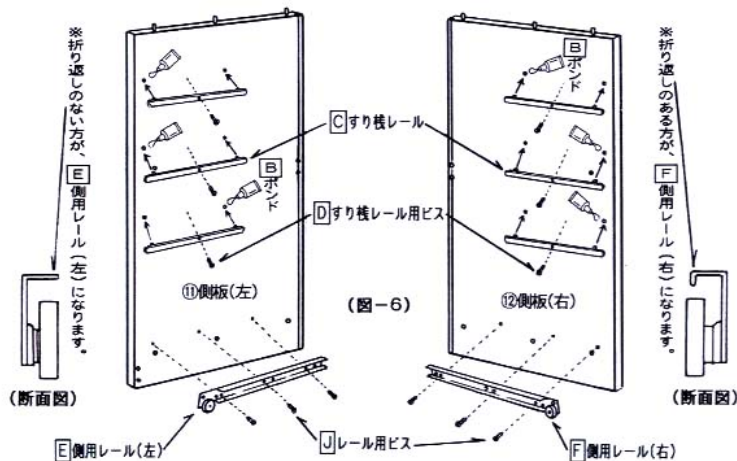
2 下部を組み立てる。

F-731

- ⑪側板(左)の印し(3カ所)にE側用レール(左)を合わせ、Jレール用ビスで取り付けます。(図-6参照)
- 同じ要領で⑫側板(右)にもF側用レール(右)を取り付けて下さい。(図-6参照)
- ⑪と⑫の穴6個づつにBボンドを入れてCすり枠レールを差し込み、Dすり枠レール用ビスで固定して下さい。(図-6参照)
3本づつ取り付けして下さい。

※図-6はわかりやすいように側板を立てた図になっていますが、レールの取り付けは側板を床に置いた状態で行って下さい。その際、床に傷がつかないように注意して下さい。

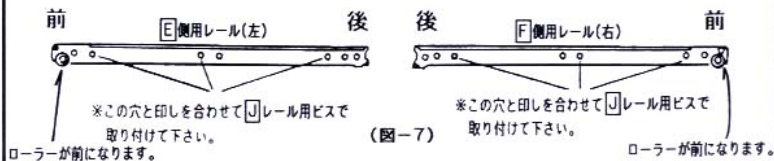
※Jレール用ビスが入りにくい場合は、きりや先の尖ったもので印しを深くして取り付けして下さい。



(注意)※側用レールの左右の取り付け位置は、図-7を参考にして取り付けして下さい。

※Jレール用ビスはまっすぐにねじ込んで下さい。

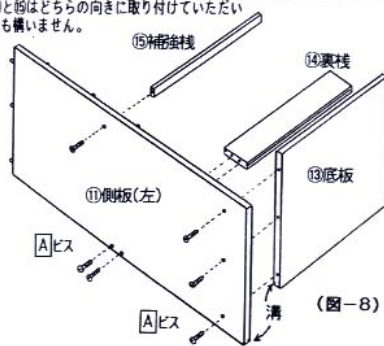
斜めにねじ込むとビスの頭が出て、引き出しの開閉が出来ない恐れがあります。



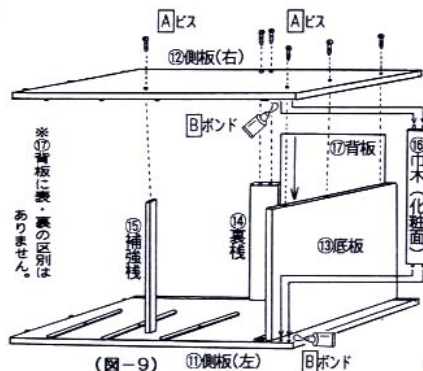
3 下部を組み立てる。(続き)

※⑭と⑮はどちらの向きに取り付けていただいても構いません。

- ⑪側板(左)に⑬底板・⑭裏枠・⑮補強枠をAビスで固定します。(図-8参照)



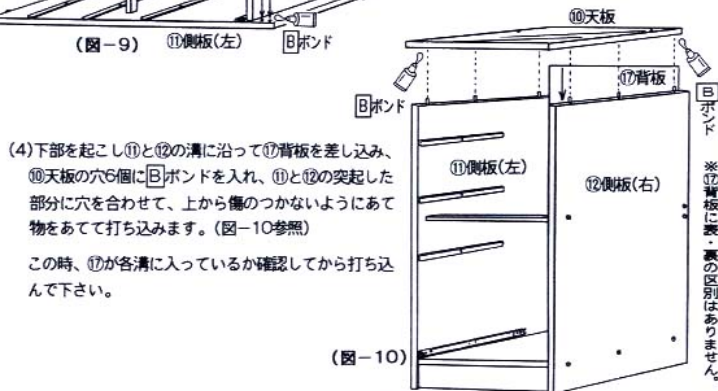
- ⑬と⑭の溝に沿って⑯背板を差し込み、⑪側板(左)の穴2個にBボンドを入れて⑯巾木を差し込みます。(図-9参照)



- ⑫側板(右)の穴2個にBボンドを入れて⑯に差し込み、⑬・⑭・⑮にAビスで固定します。(図-9参照)

この時、⑯が各溝に入っているか確認してからビス締めして下さい。

※⑯は化粧面に前に入ればどちらを差し込んでいただいても構いません。



- 下部を起こし⑪と⑫の溝に沿って⑯背板を差し込み、⑩天板の穴6個にBボンドを入れ、⑪と⑫の突起した部分に穴を合わせて、上から傷のつかないようにあて物をあてて打ち込みます。(図-10参照)

この時、⑯が各溝に入っているか確認してから打ち込んで下さい。

▼組み立ての手順が別紙に続きます。

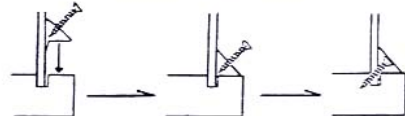
4 背板止めを取り付ける。

F-731

下部の横揺れを軽減するため、Q背板止めを取り付けます。
取り付け方は下部裏面の背板部分にQ背板止めのツメを溝に入れ、ビスで固定すれば下部の完成です。(図-11参照)

Q背板止め

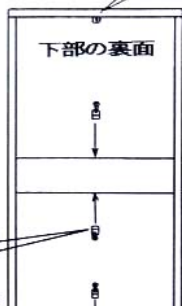
※ビスの先が出ていると溝に入りません。



(図-11)



Q背板止め



※矢印の方向に差し込んで下さい。

5 上部を組み立てる。

⑤裏棧のコンセント穴にMコンセントのコードを化粧面から通し、指で押さえてはめ込みます。(図-12参照)

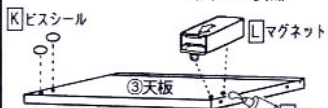
(注意)※コンセントの文字が図-12の方向になるように取り付けて下さい。

(注意)※コンセントをはめ込む時にかたい場合は、直接コンセントをたたくと破損する恐れがありますので、古雑誌(厚みが2cm以上あるもの)などをコンセントにあて軽くたたいて下さい。

注意※マグネットを取り付ける時は、扉を右開きにするか左開きにするか決めた上で取り付けて下さい。

●扉を右開きにする場合……

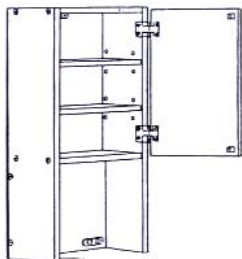
③天板にLマグネットを取り付け、不要な穴2個にKビスシールを貼して下さい。(図-13参照)



(図-13)

●マグネットを図-13の位置に取り付けると右開きになります。

上部完成図

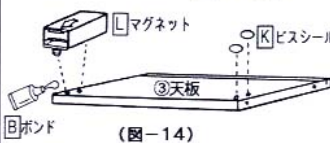


上部完成図

6 上部を組み立てる。(続き)

●扉を左開きにする場合……

③天板にLマグネットを取り付け、不要な穴2個にKビスシールを貼して下さい。(図-14参照)

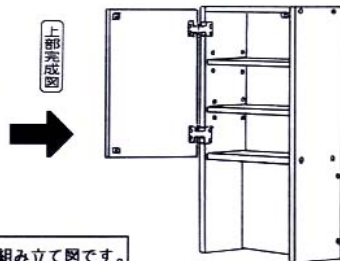


(図-14)

※かたい場合はLマグネットに古雑誌などをあて軽くたたいて下さい。
なお、たたき過ぎると破損する恐れがありますので、マグネットの脚(2本)をサンドペーパーなどで少し削ると入りやすくなります。
ただし、削りすぎにご注意下さい。

※緩い場合はBボンドを入れて下さい。

●マグネットを図-14の位置に取り付けると左開きになります。



注意※図-15・図-16は扉が右開きになる組み立て図です。

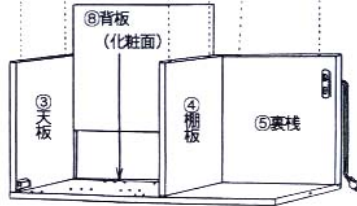
(1)①側板(左)に③天板・④棚板・⑤裏棧をAビスで取り付けます。(図-15参照)

(2)③と④の溝に沿って⑧背板を化粧面を前に向けて差し込み、②側板(右)を③・④・⑤にAビスで取り付けます。(図-16参照)

この時、⑧が各溝に入っているか確認してから取り付けて下さい。



(図-15)



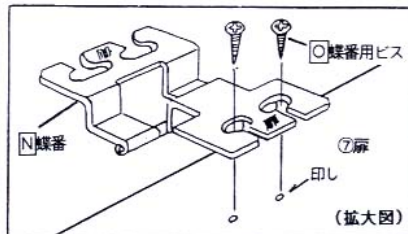
(図-16)

※左開きの場合も同じ要領で組み立てて下さい。

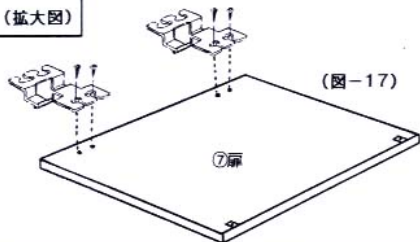
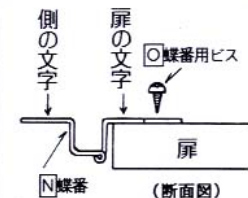
▼組み立ての手順が裏面に続きます。

7 扉に蝶番を取り付ける。

F-731

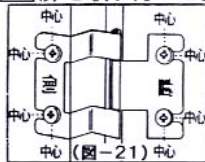


⑦扉の印しに合わせてN蝶番をO蝶番用ビスで向きに注意して取り付けます。(図-17・拡大図・断面図参照)



8 扉を取り付ける。

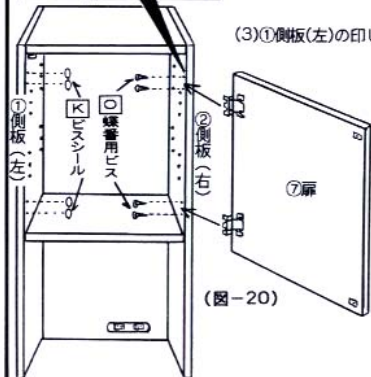
【注意】※図-20は扉が右開きになる組み立て図です。



(1)②側板(右)の印し(4カ所)にO蝶番用ビスを半分程度残してビス締めします。(図-18・図-20参照)

(2)⑦扉に取り付けたN蝶番を、②に取り付けたO蝶番用ビスに合わせて差し込みビス締めします。(図-19・図-20参照)

(3)①側板(左)の印しにKビスシールを貼って下さい。(図-20参照)

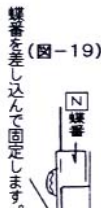


(図-20)

蝶番の厚みを残してビス締めします。



(図-18)



(図-19)

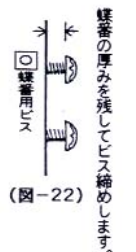
9 扉を取り付ける。(続き)

【注意】※図-24は扉が左開きになる組み立て図です。

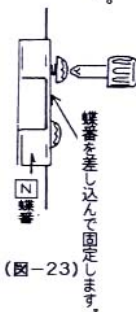
(1)①側板(左)の印し(4カ所)にO蝶番用ビスを半分程度残してビス締めします。(図-22・図-24参照)

(2)⑦扉に取り付けたN蝶番を、①に取り付けたO蝶番用ビスに合わせて差し込みビス締めします。(図-23・図-24参照)

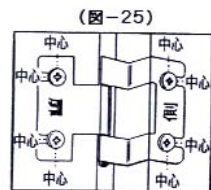
(3)②側板(右)の印しにKビスシールを貼って下さい。(図-24参照)



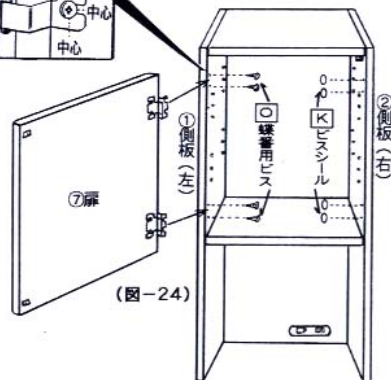
(図-22)



(図-23)



(図-25)



(図-24)

(ご注意)※蝶番のビス締めする部分は楕円形になっていますので、最初は楕円形の中心でビス締めして下さい。すきまや高さが合わない場合にビスを少し緩め、前・後・上・下させて調整して下さい。(図-21・図-25参照)

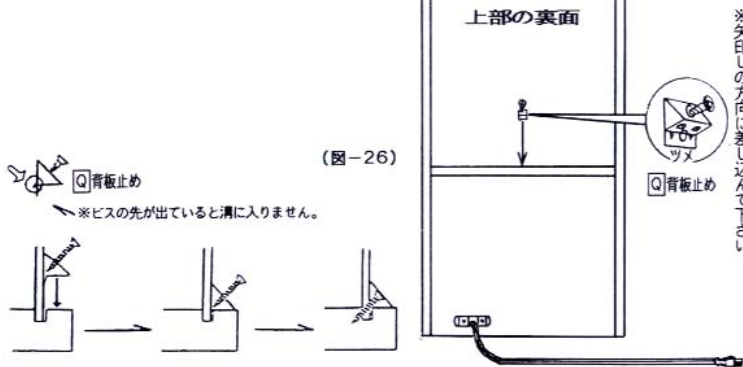
※扉を取り付けた後ビスを少し緩め、すきまの調整をしてからしっかりと固定します。
扉に取り付けたO蝶番用ビスで、扉の中央のすきまを調整出来ます。
側板に取り付けたO蝶番用ビスで、扉の高さを調整出来ます。

▼組み立ての手順が別紙に続きます。

10 背板止めを取り付ける。

F-731

上部の横揺れを軽減するため、**Q**背板止めを取り付けます。
取り付け方は上部裏面の背板部分に**Q**背板止めのツメを溝に入れ、ビスで固定して下さい。(図-26参照)

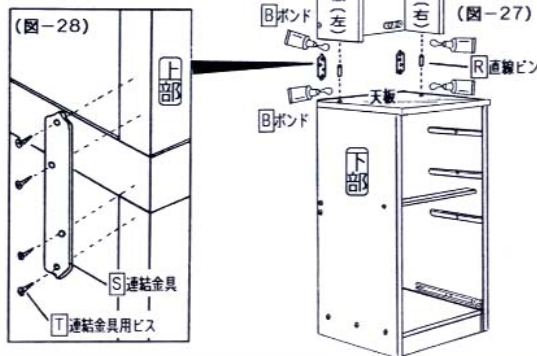


(図-26)

11 上部と下部を連結する。

- 下部の天板の穴に**B**ボンドを入れて**R**直線ピンを差し込み、上部の左右側板の穴にも**B**ボンドを入れ、ピンに合わせて差し込みます。(図-27参照)
- 下部と上部の背面の両端に、上・下を繋ぐようにして**S**連結金具をあて、**T**連結金具用ビスで固定します。(図-28参照)

△指を挿んだり、落としたりしないように充分注意して下さい。

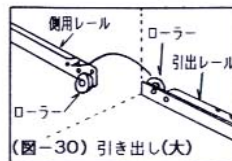


(図-28)

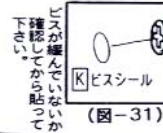
(図-27)

12 移動棚を取り付け引き出しを差し込む。

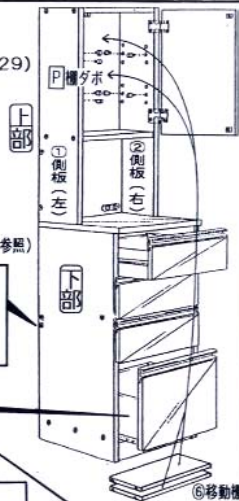
- 上部の左右側板①・②のお好みの穴に**P**棚ダボを差し込み、**⑥**移動棚(2枚)を乗せて下さい。(図-29参照)
- 組み立ての手順 1**で組み立てた引き出し(小)3個の溝をすりばねレールに沿って差し込み、引き出し(大)のレールのローラーを側用レールのローラーの奥に入れて差し込みます。(図-30参照)
- 最後に見えているビスの頭に**K**ビスシールを貼れば完成です。(図-31参照)



(図-30) 引き出し(大)

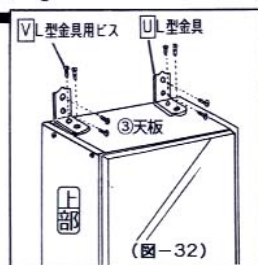
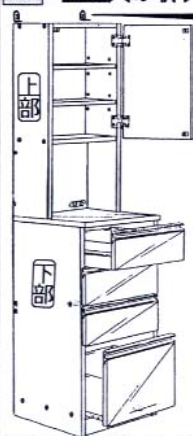


(図-31)



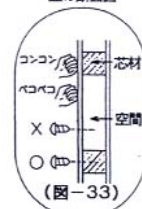
(図-29)

13 L型金具の取り付けについて



(図-32)

壁の断面図



(図-33)

地震等による転倒を避けるため、**U**L型金具を上部天板上面に取り付けます。(図-32参照)
壁へは必ず芯材のあるところに取り付けて下さい。(図-33参照)

- 【使用前の注意】** ※組み上がった後、各接合部に隙間がないか確認して、ボンドが固まるまで12時間程度待つてからご使用下さい。
- 【使用上の注意】** ※扉を開ける時は扉をゆっくり押さえずに素早く押さえて下さい。
なお、なるべく下の部分を押さえて下さい。
- 【使用上の注意】** ※引き出しを勢いよく引き出したり、いっぱいまで引き出すとレールから外れる恐れがありますのでご注意ください。
- 【使用上の注意】** ※組立終了後にビスが緩んでいないか確認して下さい。
なお、月1回程度ビスの緩みや異常がないか点検して安全にご使用下さい。